

# 名古屋でオープンした鮭店壁面に採用

## 日本製鉄の高意匠性 E G 鋼板

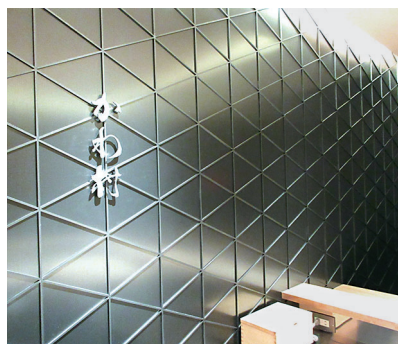


店主の川村氏（右から2人目）、三和実業の中田社長（右端）

日本製鉄の高意匠性電気亜鉛めっき鋼板（E G）フェルーチエ（F e l u c e）が、今月6日に名古屋市中村区でグランドオープンする鮭店「鮭かわ村」の壁面に採用された。東海地区有力コイルセンターで製罐や造管加工も手掛ける三和実業（本社・愛知県東海市）の中田貴之社長が提案したのがきっかけ。「鉄と木材の融合・ハイブリッド」デザインで、独特の落ち着いた空間を演出している。

店主の川村誠さんはもともと名古屋市内で鮭屋を営んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあって閉店。今回コロナ禍が明けたのを機に心機一転、再出発を決めた。川村さんの奥さんは、中田社長の父親である英幸会長の妹。中田社長にとっては義理の伯父にあたり、以前からよく店に足を運んでいたという。新たに

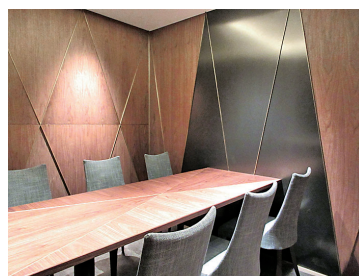
## 三和実業の中田社長が提案



今月グランドオープンする「かわ村」の壁にフェルーチエ。屋号の揮毫は元新日鉄副社長の小山氏によるもの

店するに当たり川村さんが中田社長に店舗デザイン等を相談していたところ、中田社長がフェルーチエの使用を提案した。フェルーチエは、鋼板表面のめっき層自体にヘアライン模様を加飾を施すという従来なかった手法で意匠性を高めている。

金属ならではの質感を生かしたファイバーレーザ加工機で切断。店内の壁や個室との間仕切り扉などに使用した。壁のフェルーチエの上には木材で格子柄をあしらひ、よりデザイン性を高めている。壁にある屋号「かわ村」の文字は、新日本製鉄（現日本製鉄）副社長や日鉄建材工業（現日鉄建材）社長を歴任し、現在は書道愛好家として活躍する小山巖氏によるもの。小山氏の揮毫をもとに、芙蓉鋼板加工のファイバーレーザで加工した。



個室の壁にもフェルーチエを採用した

中田社長は「業界の方々はじめ、多くの方に利用してもらいたい」と話す。住所、予約連絡先は次の通り。

▽〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目18-15 Plumeria 名駅4丁目  
▽電話050-1720-0292

